

1 自治体SDGs推進評価・調査検討会（第9回）の開催結果について（概要）

2  
3  
4 ○日時：平成30年11月9日（金）10：00～12：00

5  
6 ○場所：永田町合同庁舎 特別会議室

7  
8 ○出席委員：村上座長、浅見委員、小田切委員、蟹江委員、竹本委員、藤田委員

9  
10 ○実施内容：

11 SDGs未来都市の現地訪問の報告、SDGs未来都市計画の改定の考え方、および進  
12 捗評価様式について、確認や議論を行った。

13  
14 ○概要：

15 ① <前回（第8回）の議事概要について>

16 ○ 前回の自治体SDGs推進評価・調査検討会（以下「検討会」という。）の議事概要  
17 が確認された。

18  
19 ② <SDGs未来都市へのサポート（現地訪問）について（報告）>

20 ○ 委員による現地訪問を実施した都市について、現地訪問の結果が報告された。

21  
22 ③ <SDGs未来都市計画の改定に係る基本的な考え方について>

23 ○ 「SDGs未来都市計画の改定に係る基本的な考え方」について、前回からの修正  
24 内容が確認された。

25 ○ 委員より、自治体が計画を改定する際は、変更点と変更理由をわかりやすく報告してほ  
26 しいという意見が出た。

27  
28 ④ <自治体SDGsの評価に関する基本的な考え方について>

29 ○ 「自治体によるSDGsの取組の評価の視点」について、議論がなされた。

30 ○ 委員より、今後更新していくことを見据えて、更新の日付を明記してほしいという意  
31 見が出た。

32 ○ 「統合的取組の評価」に関する記述をより具体化するため、委員より修正案が提示さ  
33 れた。

34  
35  
36

- 1 ⑤ ＜SDGs未来都市等の進捗評価について＞
- 2 ○ 委員より、国際的な貢献や発信を意識するために、国内外への情報発信に関する項目を
- 3 追加するよう意見が出た。
- 4 ○ 全体計画の達成度が0%か100%でしか表現できない指標については、自由記載欄に定性的な進捗等を記述することが確認された。
- 5
- 6 ○ 全体計画においても統合的取組が評価されるよう、執行体制に横断的体制の構築が記載されるとよいという意見が出た。
- 7
- 8 ○ 相乗効果の記述欄はあるがトレードオフに関する記述欄がないことに対して議論があり、「トレードオフの緩和」や「全体最適化」という言葉を自治体に対して示すと良いのではないかと意見が出た。
- 9
- 10
- 11 ○ 「地方創生・地域活性化への貢献」という欄があることに対して、SDGsのゴール達成と地方創生は重なる部分が大きいため、不要ではないかという意見が出た。一方、SDGsが地方創生・地域活性化に結び付いていることを自治体に意識してもらうためにも、この欄が必要であるという意見が出た。
- 12
- 13
- 14
- 15 ○ 来年の評価の機会までに、何かしらの形で自治体の進捗状況を確認する場が欲しいという意見が出た。一方、自治体への負担に配慮すべきとの意見が出た。
- 16
- 17
- 18 ⑥ ＜その他＞
- 19 ○ 次回の評価調査検討会は12月11日であることが確認された。
- 20
- 21
- 以上